

巻子の取扱い

A. 広げ方



①紐を引いて結び目を解き、巻いてある紐を外す。巻子は回転させず、紐を巻子の周りを回して外す。



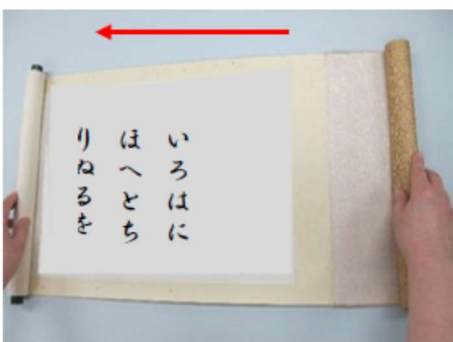
②解いた紐を折り曲げて揃える。



③折り曲げた紐を軽く結ぶ。紐が傷んでいる場合は、無理に結ばない。



④表紙を開く。



⑤結んだ紐は表紙の内側に入れ、左側(軸側)を回転させて広げる。広げる幅は肩幅くらいまでにする。



⑥見終わったら右側(表紙側)を回転させて左側(軸側)に寄せる。

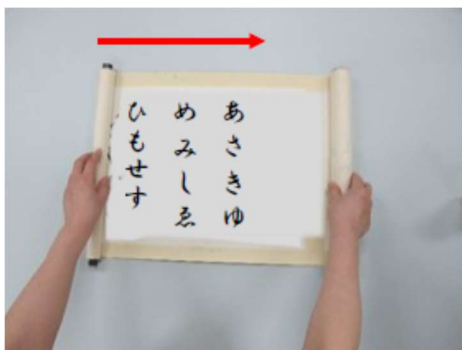


⑦巻子の裏面を擦らないように、両手で持ち上げて身体の右側に移動させる。



⑧⑤と同様に左側(軸側)を回転させて広げ、次の場面を見る。

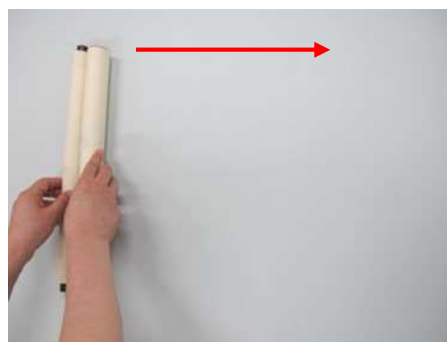
B. 巻戻し方



①右側(表紙側)は固定したまま、左側(軸側)を回転させて巻いていく。



②右側(表紙側)まで巻き終わったら、巻子の裏面を擦らないように両手で持ち上げ移動させる。



③巻子を身体の左側に置き、右側(表紙側)を回転させて次の場面を肩幅分くらい広げ、①と同様に巻いていく。



④巻戻す際に生じたズレは、こまめに修正する。少し巻き戻したり、軸端を持って調整する。

C. 紐の巻き方



①紐の結び目を解く。



②題箋（だいせん）を傷めないように、卷子の下方へ紐を巻く。卷子は回転させず、紐を動かして一周ずつ巻いていく。



③3周目で親指をかけて隙間を作り、端を二つ折りにして挟み込む。



④八双（はっそう）の上は擦れるので避け、八双を通り過ぎたところで紐を締める。